

地元食材のお菓子 町の看板商品に

平成30年11月23日、「道の駅おおさと」がリニューアルオープンした。

それと同時に、新しいお菓子が発売された。生まれ変わった町の観光拠点を代表する新たな看板商品だ。



ひとつは、「プリンミルフィーユ」。町内の農業法人「大郷グリーンファーマーズ」が平飼いで育てた鶏の卵を使用。

軽い食感の生地に優しい味わいのカスタードクリームがマッチする。

もうひとつは、「伊達おかき」。こちらも町内の農業法人「さくらファーム」が

育てた葉ワサビを使用。ピリリとした葉ワサビの辛さが後を引く美味しさだ。

このふたつは、道の駅を運営する「おおさと地域振興公社」が仙台市の「井ヶ田製茶㈱」と提携し、町産の食材を使った菓子として商品化した。

「プリンミルフィーユ」は4個入り518円、8個入り1,080円。「伊達おかき」は1袋391円。

大郷町に来た際は、是非味わっていただきたい品々だ。

（「道の駅おおさと」営業時間 午前9時から午後6時）

【記事提供：大郷町農業委員会】